

校長室 だより おみつ子通信

思い合いの心でみんなが笑顔！

令和8年1月30日

麻績小学校

No. 11



文責：尾台

1日1日大切に

「おはようございます！」…冷え込みの厳しい日が続いていますが、児童昇降口では児童会の子どもたちが元気なあいさつで、登校した子どもたちにエネルギーを与えてくれています。近隣の学校等では、インフルエンザの感染状況が話題に上るようになってきました。短い、でも、一人一人が気持ちを来年度につなげていく3学期。1日1日を大切に過ごしていきたいものです。

1月の麻績小ダイジェスト



＜あなたは あなたのままでいい＞ 22日、北部PTA連合会主催の講演会があり、講師の有坂栄康さん（元教員）と、あいいろのツバメの皆さんのが「命の授業」と題してお話をくださいました。途中、小中学生から大人まで混ざったグループでワークショップを行う場面がありました。有坂さんから提示された問い合わせをグループで話し合い、お互い共有するうちに、参加者の心はぽかぽかになっていったようです。

「あなたは あなたのままでいい」「たったひとつの私の命を大切に」という力強いメッセージ、おみっこたちのこれからに寄り添ってくれるとよいなと思います。

【子どもたちの感想から】～抜粋～

◇まず、どんな病気になっても死んじゃだめなんだと感じました。有坂さんはALSになってしまっても今日みたいに講演をしていてすごいと思ったし、僕は生きる大切さを教えてもらいました。僕は「誰かがやってくれる その誰かになろうよ」が、とても心に響きました。

◇発表できなかったけど、自分が思ったありがとうの気持ちを書きます。友だちに「一緒に遊んでくれたり、話をしてくれたりしてくれてありがとう」

◇今は何もできない僕だからこそ、のびしろがある僕が好きです。これからたくさんの人と関わって、その分たくさんの人と助け合って、協力し合うということを大切にしていきたいと思いました。

【お家の方々の感想から】～抜粋～

◇慌ただしく過ぎる毎日ですが、そんな風に過ごせる毎日がどれだけありがたいか、かみしめる時間でした。ありがとうがあふれる会場、様々な学年、保護者が混じり合ってのワークショップ。こんなにあたたかい気持ちになる講演会は初めてでした。



<3学期始業式> 8日に3学期始業式を行いました。6年生の2名が今までを振り返りながら、これから抱負を述べてくれ、ともに新年、そして3学期への気持ちを新たにできたようです。期間としては短めの3学期。各学年のまとめをしながら、来年度に向けて、明るい気持ちをもって過ごせるとよいですね。



<おみっこオンステージ> 19日の休み時間、児童会主催の「おみっこオンステージ」があり、応募したおみっこたちが、ピアノ演奏、ジャグリング、漫才などを披露しました。会場にはたくさんの子どもたちが集まり、一緒に聴き入ったり、おおと驚いたり、笑ったり…「次回は、いつかな」という声も聞こえてきました。



<ドキドキの選挙> 児童会引継の時期を迎え、22日にはR8年度児童会長選挙がありました。どちらの候補者も「麻績小をさらによきたい」という共通の目標をもっているので、力を合わせて児童会をリードしていってほしいです。



<プロに教わる> 4年生は「麻績村紙芝居の会」の皆さんをお招きし、戦争を題材にした紙芝居をお聞きした後、練習中の音読劇「ちいちゃんのかげおくり」を見ていただきました。会の皆さんがあなたがたくさんほめてください、子どもたちの自信につながったようです。



<うまくなったよ！> 1月の第4週には、連学年で聖高原スキー場にてスキー教室、そり教室を行いました。日によって雪のコンディションはまちまちだったようですが、どの日も天候に恵まれ、子どもたちはたっぷり滑ることができたようです。スキーは、インストラクターさんの指導のもと1日滑ると、後半めきめき上達するようで、「うまくなったよ！」という、うれしそうな表情もたくさん見られました。

<お願い>

◇子どもたちにとって安心して過ごせる学校となるよう、子どもたち、教職員に体罰に関わるアンケート調査を実施しているところです。職員は、子ども一人一人の人権を尊重しながら指導にあたろうとしておりますが、もし、本年度、お子さんが本校職員から暴力や暴言を受けたということがありましたら、校長までご連絡ください。